

【表紙】

振進キネマ社  
内務省検閲済台本  
題名 漫才無駄征伐行進曲 全一三巻 二五六四米

【表紙裏】

【1頁】

(発声フィルム)  
漫才無駄征伐行進曲  
全参巻 七六九巻

台湾総督府

○第五六式号

検閲済

有効期間

自昭和拾六四月九日

至昭和拾九四月八日

活動写真「フィルム」検閲

規則第十条第二項ニ依リ

手数料ヲ免除ス

障害ナシ

【2頁】

【3頁】

梗概

無駄(冗口)それは平時に於いても決して忽がせにすべきではない!

殊に戦時によつて物資の一層不足する今日!例へ一尺の布 一枚の紙と雖も無駄の爲めに徒に消費してはならぬ 然るに日本には古来よい悪い習慣があつて この無駄を案外平気で 然かも それを見得とする場合が多い 漫才の甲と乙とはユーモアの□に国民生活の中から幾多の無駄を指摘しその不合理を説いた文化映画である

(梗概終り)

【4頁】

【5頁、中段】

(第一巻)

T 1 (マーク) S・K

T 2 漫才 無駄征伐行進曲(マーク) S・K

T 3 製作 振進キネマ社 録音 東京映画社

T 4 原作 演出 井上麗吉

T 5 撮影 小野隆司 記録 世羅昌一 録音技術 堀 好郎

選曲 木村 一

T 6 配役 漫才甲田 曾我廼家一枝 同 乙村 梅村みのる

婦人 A 小柳 久子 同 B 曾我廼家芳子

同 C 明石 八里子 同 D 鈴木 千恵子

八木茆 女源太 一行

⑩ 1 甲 「イヨー

⑩ 2 乙 「コレハコレハ

⑩ 3 甲 「どうです 貯りますか

【5頁、下段】

⑨ 音楽

⑨ 音楽

【6頁】

⑩ 4 乙 「ヤ、モウ、露見しました

⑩ 5 甲 「露見!?

⑩ 6 乙 「悪るい事は出来ませんね

⑩ 7 甲 「貯める事が何んで悪いんです

⑩ 8 乙 「・・・あんたも矢張り貯めてゐますか

⑩ 9 甲 「事変以来ズーとこの方

⑩ 10 乙 「何と心臓が強よい?

⑩ 11 甲 「心臓が強よい

⑩ 2 乙 「とっても強よいトーチカ心臓ですなア

私なんか やつと三月ですわ

⑩ 13 甲 「や 三月でも 貯めやうとする心が嬉しいですわ

⑩ 14 乙 「僕の心臓では これ以上 溜まりまへんな とても

大家が 頑固でね

①15 甲「あなたの溜めるのは何んですか

【7頁】

①16 乙「家賃でせう？

①17 甲「家賃！ 呆れたね 私の言ふのは貯金の事ですよ

①18 乙「コラッ！ それならそれと何故早うに云はんのや

顔を見ると 今日は一とも云はずに いきなり

溜まりますかーと云ふもんやさかい ついがかうか

自分の秘密を洩らしたかなア

①19 甲「あんた国策型挨拶知らんのやね

①20 乙「まだ 一ぺんも お目にかかった事おまへん

①21 甲「お目にかかるもんと違ふがな 此の頃は一にも貯金二にも

貯金で 貯金する事が銃後国民の御奉公と云ふ事になつて

ゐるのや それやから そふと 今日は一と云ふ挨拶代り

に貯まりますかー とくもんやがな

①22 乙「いい事聞いた お互ひに兵隊に行けない者にとつて貯金

する事が そのままお国へ御奉公になるんですか

【8頁】

所謂一石二鳥ですなア

①23 甲「さうです 昨今は身のため国のため

①24 乙「老いては転ばぬ杖となり

①25 甲「太れば国の柱となる

①26 乙「パリと出すより チョキンが勝ちだ

①27 甲「そこで貯金の秘訣はなんぼ軍需景気で金が満つても

ばさばさ費つてしまふては そりやとても貯まりまへんわ

①28 乙「お詞ですが こちらは一こう軍需景気に悪されないサラリー

マンです 物価はどんどん上つても月給は その割に上らず

マア喰べるだけがやつとこさで貯金する余裕なんか

一寸も おまへんわ

①29 甲「この御時勢にやるそんな馬鹿な事 ようづけくと言ふなア

余裕のないと云ふのはその余裕を作らないからです 戦時

平時も同じ暮らしたら戦地の兵隊さんに済まへんで

【9頁、中段】

⑩30 乙「それを云はれると一言もおまへんけど」

⑩31 甲「けど……けどとは何事です知らぬぢや済まぬ戦地の御苦勞

琵琶 尺に代りて不義を討つ 忠勇無双の我兵は

勝たずば生きて還らじと誓ふ心の勇ましや

或ひは草に伏し隠れ 或ひは水に飛び入りて

萬死怖れず敵状を 視察し帰る斥候兵

道なき古に途をつけ 雨と降り来る弾丸を

身に浴び乍ら橋かけて 渡すに自ら人柱

連戦連勝せし事は 百□□して輸送する

兵糧輜重の賜ぞ 戦友よ 喜べ 日の丸だ

我も零以下三十度 氷った飯にも舌鼓

と云ふ様な訳でね 連戦連勝の撃やいな勝どきの陰には

たとへ様のない御苦勞があるのです 我々がこうして安温に

その日が過ごして行けると云ふのはこれも一重に

【9頁、下段】

㊦ラッパの音

㊧小銃の音

㊨大砲の音

【10頁、中段】

みんな兵隊さんのお陰です

⑩32 小学生の唄 肩を並べて兄さんと 今日と学校へ行けるのは

兵隊さんのお陰です お国のために

お国のために戦った 兵隊さんのお陰です

⑩33 甲「あんな小つちやな子供達も兵隊さんに感謝して

居るぢやありませんか

⑩34 乙「ましてや大人の癖に贅澤をしたり怠けたりしたのでは

相済まんですな

⑩35 甲「すべからく銃後奉仕は感謝生活です共に戦場に有るの想ひ

で何事にも不自由と思はねばなりません

所詮 近代戦は国家総力戦です

⑩36 乙「ハッ 聖戦や民一億の体当り 我こそ銃後の殊勲甲イデ

ヤ怨敵御座んなれ、相手の敵は何□に居るのや

⑩37 甲「そこらにウジャウジャして居るやないか

【10頁、下段】

⑤音楽

【11頁】

③8 乙「ハテ わしの目には さっぱり□れぬのやが

サアハ 便衣隊やな

③9 甲「さうや 習慣と云ふ便衣を着た無駄と云ふ奴や

④0 乙「なんや 無駄か 張り合いのない

④1 甲「ところが この無駄が持つんは実に怖るべきもので

④2 乙「ウム

④3 甲「日本の古い習慣の陰に隠れて日本の経済を根本から覆へ

さうとして居るのです

④4 乙「そりや さうです いや その無駄と云ふ奴の打つ大砲は

ネ どんな家庭でも会社でも大きな穴を明けられて居ますワ

④5 甲「先づ絶体に戦争は勝たねばなりません如何に戦線に

勇猛果敢な軍隊があつても銃後にこの無駄を征伐する力が

なかったらば最後の勝利は到底得られません

④6 乙「さうですね 近代戦はすべからく経済戦とも云いますから

【12頁、中段】

なア それを考へるとたとへ紙一枚でも又一尺の布でも

無駄の奴に占領させては大変ですからな

④7 甲「いや あんたでさへはご挨拶ですなア いや兎に角

善は急げや 一つ無駄征伐に出かけませうか？

④8 乙「ぢや 出かけませう

④9 A夫人「マア 奥様く

⑤0 B夫人「アラ マア あのどちらへ……

⑤1 A夫人「妻と一寸 こちらへ

⑤2 B夫人「私もなんですよ こちらお目出度ださうで

⑤3 A夫人「さうなんださうですね では御一緒に……

⑤4 B夫人「さあ 御先へ どうぞ さあく

⑤5 甲「オイ 婚礼やで

⑤6 乙「この婚礼と云ふ奴には随分無駄があるぜ

⑤7 甲「有る共 大有りや この家は僕の知り合いのだ

【12頁、下段】

⑤音楽

【13頁、中段】

⑤58 乙「そんなら一とつ突撃しようか

⑤59 甲「よし シツ 敵に悟られない様にな……

——（第一巻終）——

【13頁、下段】

⑤胸を叩く音

【14頁、中段】

（第二巻）

⑤1 甲「どうですア、して調度品の衣裳を飾り立て これ見よがし

の 俗に言ふ襟飾りと云ふのやが あれ等大きな無駄だぜ

然かもかうして披露をするためについてに此れもこれもと

無駄と知りつつ遂ひ数多く作り度くなるのが人情です

又それを見て貰ふ為に澤山な人を招んで御馳走までせにや

ならぬてほんまに無駄の親玉だつせ

⑤2 A夫人「マー 本当に御見事に出来ました事

⑤3 C夫人「本当に立派ですこと でも大分人絹の混じつたのも

有りますね

⑤4 B夫人「まア そんな事仰有つて

⑤5 A夫人「ええ さうらしいですわ あれ事□つけなしの

人絹でございますよ

【14頁、下段】

⑤音楽

⑤扉の音

【15頁】

⑤6 一同「マ…… ホ……

⑤7 女中「いらつしやいます あちらにお仕度が出来て居りますから

どうぞ……

⑤8 一同「有りがとうございます マア済みません

⑤9 乙「此れだ 御馳走までして悪口云はれたんでは一寸勘定に

合いませんなア

- ⑩10 甲「ネー その上無理な借金をして見得を張り首を釣った  
ためしは なんぼでも おますぜ
- ⑩11 乙「イイエ 私しには嫁入前の娘が三人も居るんですして見るに  
私しはまだ三べんも首釣らなければなりまへんな
- ⑩12 甲「そりや又 一寸つらい話ですなー オー見なはれ  
お嬢さんの衣裳がへや
- ⑩13 乙「成 程
- ⑩14 甲「第一嫁の振袖からして今の時代に適しない大きな無駄や

【16頁、中段】

- ああして二三度だけで 高い物を徒らに仕舞いこんで  
後は一年に一度の土用干し以外は陽の目を拝まないで  
徒らに箆笥の肥やしにしてふのはほんまに勿体ない  
事ですぬ
- ⑩15 乙「全く勿体ない無駄なこつてすなー いわゆる結婚の改善は  
富裕階級から自覚して よい手本を示して貰いたいですな
- ⑩16 甲「あんたいい事云ふナ――
- ⑩17 乙「さうなりや 僕の家でさへ僕の通りやからと第一貧乏人の  
やせ我慢が無くなりますわ
- ⑩18 夫人の声「こらつ 何にが貧乏人のやせ我慢かこれ待て待たんかこれ
- ⑩19 甲「早よう 早よう これ こつちやこつちや オイこつちやこつちや
- ⑩20 甲「アー 驚いた
- ⑩22 乙「イヤ そりやな 眼の前で貧乏人のやせ我慢なんて  
云ふたんでは怒るのが當り前ですぜ

【16頁、下段】

⑤足音

【17頁、上段】

- ①1 式服は一着
- ①2 披露宴は質素に

【17頁、中段】

- ②23 甲「けど あんなところに居るとは知らんがなア
- ②24 乙「そりや そうやろう それから一とつ結婚の理想型  
所謂 国策タイプを伺ひませう

②25 甲「ほんとうにやう問ひはったナ ヤ 実はそれが云ひたい  
□や 先づ第一に嫁の襟飾り等は気に入らんね

②26 乙「そりや そうや

②27 甲「まづ第二には式服は一葛 これもやめてつめ袖にする事  
第三は披露宴は簡素に引出物は絶対に禁止する これも  
こひ願はくば お金持ちが習慣打破の第一線に立って  
披露宴もならば簡単なお茶の会でやって貰いたい  
これなんども既に名士や富豪の中でも先鞭を附けて実行  
せられてる方も相当あるのだが まづ第四には  
調度品の新調見合わせ

②28 乙「成程

【18頁、上段】

①3 寿

御調度品

①4 (花輪の文字)

①5 (同 )

【18頁、中段】

②29 甲「大抵の調度品は嫁ぎ先にもある事やし強いて不用の品を  
然かも粗悪で高価な現代ものを 新調する必要は絶対に  
無いと思ふな若しもさうした余裕があるならば嫁に興入  
たいと思ふだけの品は預金なり又 国債なりで持参させる  
等は最も理想的調度品ではないやらうかね 以上はその  
寧なるものだがせめてさし当ってこれだけでも改めて  
貰ひ度いね

②30 乙「なる程 そりやそこもあるね オットホだ大物がおまつせ

②31 甲「え

②32 乙「それ彼れや

②33 甲「ア お葬りか 元末葬儀は故人の最後を飾る盛儀として  
最も厳粛に取り行ふ事は勿論の事です これが兎角  
社会の習慣からその精神を失ひ徒に外見ばかりを飾る事  
は将に無駄の骨頂と云はねばなりまへんな

【19頁】

②34 乙「いや そりやそうです そりやもう私かつてそう思つて



るのや第一の嫁の花輪かつて真心から仏様へ備へたもんで  
はありまへん半分は自家広告の為が多いんです 此の沢山  
の自働車かて これは無駄と云ふより癩だ！ 戦時に於け  
るガソリンの一滴は血の一滴にも相当する いや然るに  
一滴の涙もこぼさない義理一遍の金□者の為に尊いガソリ  
ンを費消する事は全く意味おまへんな

③5 甲「それに この際自働車等も近親者だけのホンの二三台に止  
めて若しも心から金□して下さる方が有るならば電車か  
バスの切符を渡す事がよろしいな

③6 乙「それはええ事ですね それにもう一つはねお会ひに香典  
返へしなどは早速止めて貰ひたいものですなア

③7 甲「あんたもちよいちよいい事云ふねー

③8 乙「いやおおきに これも御時勢が身にしみましてねえ

【20頁】

③9 甲「アー一服 いきまへうか

④0 乙「やりまへう

④1 甲「さうませう

④2 乙「オイ マッチ

④3 甲「マッチ！ アー火を点けるならこれをお使ひ この頃は  
マッチ一本でも無駄には使へないからな それに近頃の  
やうにマッチが欠乏しては一層マッチの有りがた味が  
解るでなア

④4 乙「全くですな

④5 甲「これ人の煙草喫って何してるんや

④6 乙「こんなん国策型になりまへんかな

④7 甲「そんなのないよ

④8 乙「然し仕事休みの一服は又格別うまいもんですな

④9 甲「そりや そうやろうお先煙草ならばな

⑤0 乙「アノ戦地の兵隊さんは一本の煙草も分けて喫うさうだが

【21頁、中段】

オイ 戦友モウ一本暮れ

⑤1 甲「やう云はんは

⑤2 乙「然しネエ この煙草だけは無駄の部に入りまへんか

⑤3 甲「そりやマア 喫はん者からは無駄とも云へるし、好きな者

からは必要だとも云へる 然しや現在の国民はチト煙草を喫ひ過ぎてますな

昨年一ヶ年だけで国民の吸った煙草代は約四億円近くでそれを煙りにしてしまふてるんです 仮りにこれだけの金を紙幣に積み重ねたら何んぼうトチカ心臓でも一寸火を点けて見る気にはなれないでせう

⑤54 甲「マアこの際愛煙家に少し考へて貰ひたいもんですね

⑤55 乙「さうですね ありや 火事やおまへんか

⑤56 甲「火事だ やれやれ勿体ない 一寸の油断で

これは又 大変の無駄ですね

【21頁、下段】

⑤音楽

⑤サイレンの音

【22頁】

⑤57 乙「油断大敵 火の用心 寝た間も忘るな 此の無駄を……

⑤58 甲「油断ついでに 空巢ねらひや泥棒に物を盗られるのは  
大きな無駄ですね

⑤59 乙「全くさうですね

⑤60 警官「コラッ!

⑤61 〃 「ナンと言ふ態ぢや 時節柄もわきまへないで……

⑤62 酔漢「何とも申訳がありません

飲めないと云ふものを皆でよつてたかつて無理に飲ま  
しやあがったものですから 申訳ありません

⑤63 警官「云ひ訳は警察へ行ってせい

⑤64 酔漢「でも 御勘弁 希います

⑤65 警官「早く行け

⑤66 酔漢「ええ

⑤67 乙「あんまり いい格好ぢやおまへんなア

【23頁】

⑤68 甲「皆がさせる罪と云ひ乍ら何にもあんなに成る迄  
飲まんでもよささうなものや

⑤69 乙「いいや ありや無理に飲まされたと云ふてますがね  
酒の無理強ひなど やぼの骨頂ですなア

⑦0 甲「日本には昔から盃のやりとりや無理強いと云ふ悪い習慣があつて消費量の三分の一は盃況や贅に飲まして了ふんですからなア これ等も 大きな無駄ですぞ

⑦1 乙「さうですぞね

⑦2 多勢の声「萬歳

⑦3 〃 「萬歳 く

——(第二巻終)——

【24頁】

(第三巻)

①1 甲「御苦勞様です

①2 乙「なかなかいい心掛けですな

①3 甲「當り前へちやありませんか

①4 乙「いや どうも 済みまへん

①5 甲「イエイエ

①6 乙「時に

①7 甲「ああ 吃驚した

①8 乙「いや あのネ あの兵隊さんを送る旗かて戦産のあるなしで数が違ふんですがね こりや全く申訳のない事ですな

①9 甲「さうです 元は間分澤山立つる家も有つたが 町内や国体の申合せで一本か二本かに一定して極めた拳と云ふ事はいい事ですぞね

①0 乙「全くさうですぞね

【25頁、中段】

①1 甲「どうです あれ等 理想型ですなア

①2 乙「さう云はれると何となく奥床しい感じがしますなア

①3 甲「それに又戦地から帰還しやはつた兵隊さんからお土産を貰ふなんてもつての外や こりややる方がでも ヤ

考へて貰ひたいものだすな

①4 乙「そりや 本當に全くですな

①5 甲「空地もこんな風にご利用されると理想的ですぞね

①6 乙「ほんとにさうですぞねこうして兔を飼つて居るところは国策にぴったり合つてゐますぞね それに小さい乍らも この夏からは家庭で喰べるだけの 野菜は充分間に合つてますからねー空き地がうまく利用されて居たんでは流石のあんたも

小言は云へまへんやろ

①17 甲「どや だから先刻から褒めて居るやおまへんかい 然し

こんなのは稀で アッ 一寸 向ふを見なはれ

【25頁、下段】

⑤ 歎声

⑤ 歎声

【26頁】

この土地位ひ 空地の多い所は一寸外にはありまへんな

①18 乙「さうすな

①19 甲「これなんぞも 大きな無駄の一つですぜ

①20 乙「成程 ああお湯がわいて沸へこぼれて居る

①21 甲「これ よその家へ飛び込んで 何してんのかや

これ 一寸 待ちなはれ

①22 乙「黙って居られんやお湯はどんどん わいてるし

瓦斯はポツク 出放題や

①23 甲「これ等は小さい 事の やうだけど 全部の家庭がこんな

風だったら これも 大きな無駄の一つやな

①24 乙「さうや

①25 A夫人「一寸お前さんの家 お客さんぢやない

①26 B夫人「あら 誰ぢやえも 見慣れん人だわナも

①27 C夫人「薬鑑を提げて居るが薬鑑泥棒かも知れないわ

【27頁】

①28 A夫人「行って見た方が いいよ

①29 甲「来た来た お内儀さんらしいで

①30 B夫人「何んだ自宅の薬鑑提げて あんた薬鑑泥棒きやア

①31 乙「泥棒は恐れ入りましたネ イイエこの薬鑑のお湯は

ドンドン沸いてるし瓦斯はポツク出とるし

余り勿体ないから……

①32 B夫人「あんた瓦斯やさんかえも

①33 乙「ウーム

①34 B夫人「そんなら うちの瓦斯代払っててようすのか?

①35 乙「何んで私があんたの所の瓦斯代払はにやなりまへんのかや

①36 B夫人「そんなら大きなお世話ぢやないきやアあも

③ 37 乙「奥さん……」

③ 38 B夫人「エライ 改まってなんだえも」

③ 39 乙「へエ 今や 日本はね 支那を相手に大きな戦争を」

【28頁】

してるんですよ

④ 40 B夫人「然るに男子の分際で戦争にも行けないとは

何と云ふ態だえも

④ 41 乙「恐れ入りました

④ 42 B夫人「恐れ入ったら帰へりやあせ

④ 43 乙「ハイ

④ 44 甲「オイ 一寸 待てよ オイ帰ったら何んにもならんがな

情けない 見て居らりやへんヨン俺が代わってやろう

④ 45 B夫人「来たな 敗残兵！

④ 46 甲「敗残兵！ おかみさん そりや出過ぎたことかも

知りまへんで けれど私等二人は仰せの如く そりや

兵隊にも行けん身体です 然し国を想ふ心と云ふものに

チツとも変りはありまへんで そこで銃後の護りとして

無駄征伐に歩いてるんです 然るに之は只瓦斯を附けっぱ

【29頁】

なしで井戸端会議と云ふのは何事です 見るに見兼ねて

飛び込んだのです

④ 47 B夫人「云はれて見ればホントに済まんこつてすわ

マ お茶一つ入れませう

④ 48 甲「それが無駄事！

④ 49 B夫人「ア 茶ようかいな ハハハハハハ

④ 50 A夫人「一寸御免遊ばせ 只今承はればお二人さんには御奇篤にも

無駄征伐に歩いて居らっしゃるさうですけど 然し

無駄の征伐 は家庭からと申しまして その家庭を預かる我ら

女性こそまづ第一線に立たねばなりません

そこで お二人の行き盛んにする為めに無駄征伐行進曲を

合唱させよう

④ 51 一同「賛成……」

④ 52 C夫人「ハア…… さても一座の皆様方よ

【29頁、中段】

無駄の征伐 婦人が戦士  
夫職場で 汗出した金を  
女房ふしたら無駄しちや駄目だ  
無駄を省いて余せよ貯金  
ならば 月給も天引貯金  
汗を絞った ついでに智恵も  
絞り貯金の方法も御座るが オゝ勇め  
①53 B夫人「ハァー 国を愛する 心で品を  
皆が愛すりゃ 物資は貴□  
資源愛護の心の針で  
生かせ廃物利用の法を  
膜をかへせば 隠しは右だ  
それと 隠さず出すのが流行る  
一寸参考に これなど如何

【29頁、下段】

⑤音楽

【30頁、中段】

- 都腰巻三年あてて一寸手を入れ子供のマント  
エンの一倒 まことに失礼  
①54 D夫人「ア……とかく戦さのかけひきごとは  
腹が減っては戦に勝てぬ  
と云ふて鱈腹 食ふのは無駄よ  
七分携きなら腹八分目  
よく噛み砕くは長寿の秘訣  
何と云ふても健康さきに  
丈夫に宿した健康な子供  
産めよ 増やせよ 人手が足りぬ  
①55 B夫人「ア…… 興亜聖戦 銃後と共に  
つくすにや家庭の銃後が大事家庭の銃後はわしらで守る  
心 おきなく働け男子  
①56 乙「さうなりや二人もいらぬ無駄だ

【30頁、下段】

⑤音楽

⑤音

【31頁、中段】

⑤57 甲「一寸 ころらで失礼いたし

⑤58 一同「又の御機嫌 伺ひますがオゝ勇め  
(以上)

【31頁、下段】

⑤音楽

【32頁】

【データ採録…古賀淳子】【校正…森田健嗣】